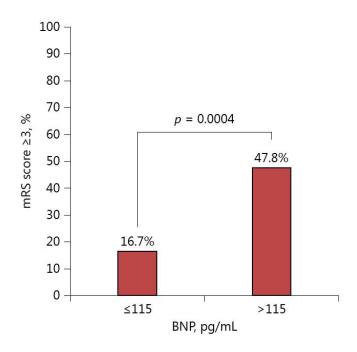
Brain Natriuretic Peptide Is a Powerful Predictor of Outcome in Stroke Patients with Atrial Fibrillation

Maruyama K, Uchiyama S, Shiga T, Iijima M, Ishizuka K, Hoshino T, Kitagawa K. Cerebrovascular Disease Extra 2017;7:35–43

非弁膜症性心房細動(NVAF)による心原性脳塞栓症患者(CE:cardioembolism)は、一般に転帰不良で退院後の転帰予測は重要である。我々は NVAF による CE、梗塞の大きさおよび退院後の modified Rankin Scale (mRS) score と有意に相関していることを報告した。これまで NVAF による CE の退院後の転帰予測因子の報告が散見されている。本研究において、NVAF による CE の転帰予測に BNP を含む多因子での検討を行い、どの因子がすぐれているか評価を行った。2010 年 4 月から 2015 年 10 月に我々の病院へ入院した発症後 48 時間以内の急性期脳梗塞患者連続 615 例のうち NVAF による CE 157 例について検討を行った。脳卒中の危険因子、抗血栓療法の有無、組織プラスミノーゲンアクチベーター投与の有無、梗塞の大きさ、BNP、D・dimer、脳卒中前の CHADS2 score、CHA2DS2・VASc score とR2CHADS2 score、経胸壁心エコーの左室収縮能、左房径について評価を行った。脳卒中発症 3 ヶ月後のmRS score を 2 以下を予後良好、3 以上を予後不良の 2 群間とし、多重ロジスティック回帰モデルを用いて解析を行った。BNP level(odds 比[OR]6.40;95%信頼区間[CI]1.26・32.43;p=0.0235)とNIHSS score(OR 2.87;95%CI 1.84・4.47;p<0.001)が有意であった。以上より BNP は、NVAFによる CE の転帰予測に強力な因子であった。



Correlation between poor functional outcome (mRS score  $\geq$ 3) and BNP level.

Higher BNP levels were associated with poor functional outcome

(mRS score  $\geq$ 3) 3 months after stroke.

mRS, modified Rankin Scale; BNP, brain natriuretic peptide.